

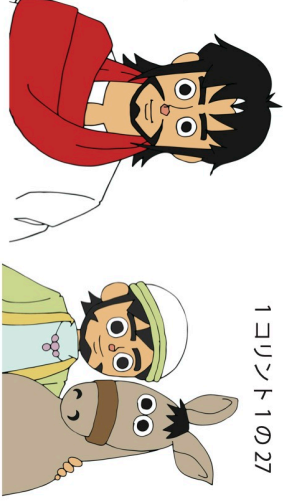
バラムと はなすロバ

1 コリント1の27

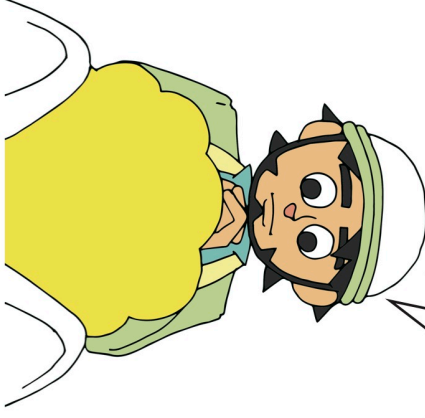
しかし神は、知恵ある者を恥じ入らせるために、この世の愚かな者を選び、強い者を恥じ入らせるために、この世の弱い者を選びました。



神さまは、小さいなろバを用いて、バラムの悪いところを正しい方に向けてさせました。聖書を見ると、小さいロバが、イエスを背にお乗せしてお役に立ったことが書いてあります。小さい私たちも、神さまのお役に立てるのです。



それから、バラムは、神さまの王さまの御用をなさるようになって、いろいろなところへ行きました。



「かみさま、ごめんなさい。」

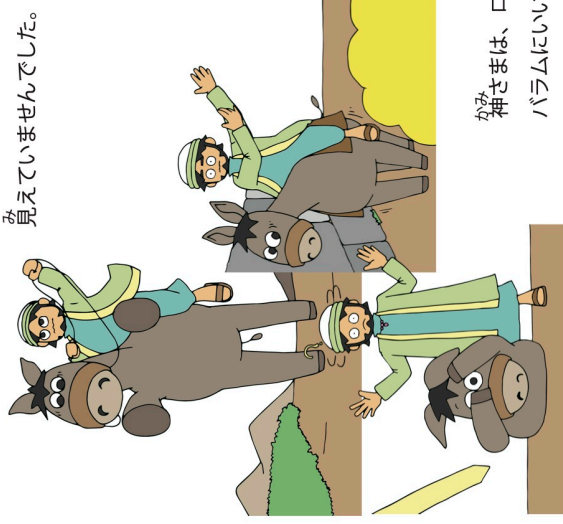
そのとき、バラムは、「はっ」と気づきました。すると、バラムにも天使が見えるようになりまして。バラムは、いいました。「私が、まちがってしまいました。悪いことは考えないで、神さまの御用をなさります！」

あるひ、モアブの国の王さまが、バラムという預言者に使いを送りました。「たくさんのイスラエルの人たちが、私の国にやってきました。どうかここに来て、この人たちに、わかることがあるように、神さまにおねがいしてほしい。おれはたくさんします。」バラムは、王さまのねがいを神さまに知らせました。神さまは、「だめですよ。イスラエルの人は、わたしのだいいじな人たちです。」「もし行くというのなら、わたしのことをばだけ伝えなさい。」



バラムは、(おれがもらえるなら、王さまのことを聞こうかな。) そんな悪いことを考えながら、ロバのって王さまのところへ行きなさい。

死にいくと、ロバは、道をはずれて行きました。！バラムはおこって、ロバをたたまきました。また少し行くと、石垣に体をよせました。バラムはおこって、ロバをたたまきました。こんどは、道にうずくまってしまう。バラムはおこって、ロバをたたまきました。ロバの前には、天使が立って道をふさいでいたのです。でもバラムには、天使が見えていませんでした。



「バラムさん！」

神さまは、ロバがしゃべれるようにされました。そして、ロバは、バラムにいいました「どうして、3回もたたくのですか！」